

---

# 青い空白い雲

凜空

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

青い空白い雲

### 【Nコード】

N1485B

### 【作者名】

凜空

### 【あらすじ】

いつも仲良しのエドとアレン。この二人は大きな夢を抱いていた

！

青い空白い雲 第一章 夢（前書き）

今回の作品は友達と冒険をテーマにし書かせて頂きました。読んだ後の感想などを頂ければ幸いです。愛読者などが増える事を願います。

## 青い空白い雲 第一章 夢

ハアハア・・・凄く息がきれる 急いで僕らの秘密の場所に向か  
つてるんだ

「1・・・2・・・3・・・4 よし！4つも盗んだ。エドはどう  
だ？」

「1・・・2 たった二個だ・・・やっぱりアレンにはかなわないや。  
この盗んだお菓子どうするの？」

「友達に売る・・・！それでカラスプレーを買ってそれで街にで  
つかくアレン・エド旅に出るって書くんだ！」

「あははw そうだったね」

「とはいってもエドは一人で盗んだりするなよ。危ないからな」  
「うん」

もうすぐ陽が落ちてくるな・・・。もうそろそろ家に帰るか  
僕らは話しながら家まで歩いて帰った。

「只今」

「お帰りなさい・・・今まで何処に行ってたの？」

「友達と遊んでただけだよ・・・さてとと勉強してこよう」

勉強するのは嘘だ。部屋に入ってごろごろするだけだ。

ここは・・・どこだろう・・・？

前に扉が何十個もある。とりあえず一つ開けてみた

何だ・・・？！ここは 見渡す限りの大地 とても美しい大地

次の扉を開けてみるとまた僕の知らない町並み

僕は夢中になって、扉を開けていった。最後の扉を開けてみた。

そこには何も無い暗闇。何故だろう僕はこういう空間が大好きだ

何かがおそってくる・・・？！誰だ

僕はその時その扉から抜け出した。というより夢がさめただけだ。

今のは夢か・・・？と現実感が溢れていたので夢というのが信じ  
れなかった。

青い空白い雲 第一章 夢（後書き）

今回の作品はどうでしたでしょうか？

自分も少しずつ考えてこの作品ができました。

できはあまりよくないかもしれませんが、

これからも宜しく願います

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1485b/>

---

青い空白い雲

2011年1月19日12時38分発行